

※第2回市営企業調査審議会で頂いたご意見を踏まえた修正など、  
 主要な修正事項をとりまとめております。

No.	項目	頁	第2回市営企業調査審議会で頂いたご意見	修正内容
1	表紙	-	・表紙で、ハザードマップがどういったものか分かるよう、「浸水が起こる危険性の度合いを色で示す地図」などの記載があると良いと思う。	・表紙で、ハザードマップがどういったものか、またハザードマップで何を確認すればよいのか理解できるよう、 <u>文章を変更及び追加</u> しました。
2			-	・災害時にスマートフォンなどで電子版を確認できるよう、ハザードマップ電子版を掲載するホームページの <u>QRコードを掲載</u> しました。(P21 情報入手先などにも QRコード掲載)

修正前	修正後

No. 1  
 文章の変更

No. 1  
 文章の追加

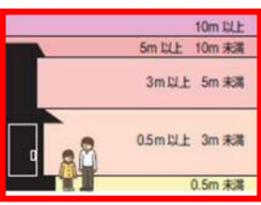
No. 2  
 QRコード掲載

No.	項目	頁	第2回市営企業調査審議会で頂いたご意見	修正内容
3	2 避難地図 (浸水の想定条件)	2	・内水氾濫と洪水の想定降雨が違う理由について、より分かりやすい説明の記載があると良いと思う。	・内水氾濫と洪水で想定降雨が違う理由が分かりやすくなるよう、下水道は比較的流域が小さく短時間の強い雨が降った場合に浸水規模が大きくなること、また川は比較的流域が大きく長時間にわたる大雨が降った場合に浸水規模が大きくなることなどを示す <u>文章を追加</u> するとともに、重要箇所を <b>赤字で表示</b> しました。

修正前	修正後
<div data-bbox="341 514 1320 619"> <h2>ステップ② 浸水想定区域や避難場所を確認しよう!!</h2> <h3>2 避難地図 浸水の想定条件</h3> </div> <div data-bbox="341 630 1320 777"> <ul style="list-style-type: none"> <li>●この避難地図 (P3 ~ P14) は、<b>想定し得る最大規模の降雨</b>により想定される浸水区域を浸水の深さに応じて色を分けて表示した地図で、水防法の規定に基づき作成しています。</li> <li>●浸水シミュレーションによる想定ですので、着色されていない場合でも、浸水が発生しないということではありません。</li> <li>●土地利用や雨の降り方、下水道や川の整備状況などによっては、実際の浸水状況と異なることがあります。</li> </ul> </div> <div data-bbox="341 787 1320 1081"> <h4>内水氾濫</h4> <p><b>想定降雨</b> <b>短時間の大雨</b>が降った場合に浸水規模が大きくなる特徴を踏まえ、以下の降雨を想定しています。 総雨量 <b>125mm / 1時間</b></p> <p><b>浸水の想定方法</b> ▶大雨を排水しきれず地上に溢れると想定される市内の下水道について、その溢れた水がどのように氾濫し広がっていくかを予想しています。 ▶実際は、雨が降った地域周辺において下水道から水が溢れ、浸水が発生します。</p> <p><small>※下水道で雨を排水していない区域は浸水想定の対象としておりませんので、内水氾濫避難地図 (P3 ~ P14 の左側ページ) では灰色 (■) で着色しています。 ※下水道の整備状況は令和2年 (2020年) 3月末時点です。</small></p> </div> <div data-bbox="341 1092 1320 1554"> <h4>洪水</h4> <p><b>想定降雨</b> <b>長時間にわたる大雨</b>が降った場合に浸水規模が大きくなる特徴を踏まえ、川の流域の大きさに応じて、以下の降雨を想定しています。 総雨量 <b>406mm / 72時間：豊平川 (下流)</b> 総雨量 <b>473mm / 24時間：新川水系 (新川、中の川、琴似発寒川、琴似川)</b></p> <p><b>浸水の想定方法</b> ▶堤防の決壊が想定される全ての箇所について、どのように氾濫し浸水するかを予想し、それらの結果を重ね合わせ、浸水の区域と深さを表示しています。 ▶実際は、それらのうち限られた箇所が氾濫し、浸水区域が広がり、徐々に深くなります。</p> <p>▶「札幌市地図情報サービス」(P21を確認)では、自宅などがどの川の浸水想定区域にあるか確認することができます。</p> </div> <div data-bbox="341 1564 1320 1627"> <h4>土砂災害にも注意してください</h4> </div> <div data-bbox="341 1638 1320 1743"> <ul style="list-style-type: none"> <li>●大雨が降った場合には、土砂災害が発生する危険性もあります。</li> <li>●この避難地図 (P3 ~ P14) では、<b>土砂災害警戒区域</b> (■) も掲載していますので、必ずご確認ください。</li> <li>●自宅などが「土砂災害警戒区域」にある場合は、<b>指定緊急避難場所</b> (P19を確認) などへ避難しましょう。</li> </ul> </div> <div data-bbox="341 1753 1320 1984"> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="341 1753 667 1984"> <h5>土石流</h5> <p>山腹や川底の石や土砂が集中豪雨などによって一気に下流へと押し流される現象</p> </div> <div data-bbox="682 1753 1009 1984"> <h5>がけ崩れ</h5> <p>山の斜面や自然の急傾斜の崖、人工的な造成による斜面が突然崩れ落ちる現象</p> </div> <div data-bbox="1023 1753 1320 1984"> <h5>地すべり</h5> <p>斜面の一部あるいは全部が地下水の影響と重力によってゆっくり斜面下方に移動する現象</p> </div> </div> </div>	<div data-bbox="1647 514 2626 619"> <h2>ステップ② 浸水の危険度や避難方法を確かめよう!!</h2> <h3>2 避難地図 浸水の想定条件</h3> </div> <div data-bbox="1647 630 2626 777"> <ul style="list-style-type: none"> <li>●この避難地図 (P3 ~ P14) は、最大規模の浸水に備えるために、<b>想定し得る最大規模の降雨</b>により想定される浸水区域を<b>浸水の深さに応じて色を分けて表示</b>した地図で、水防法の規定に基づき作成しています。</li> <li>●浸水シミュレーションによる想定ですので、着色されていない場合でも、浸水が発生しないということではありません。</li> <li>●土地利用や雨の降り方、下水道や川の整備状況などによっては、実際の浸水状況と異なることがあります。</li> </ul> </div> <div data-bbox="1647 787 2626 1155"> <h4>内水氾濫</h4> <p><b>想定降雨</b> <b>下水道は比較的流域が小さく、短時間の強い雨</b>が降った場合に浸水規模が大きくなる特徴を踏まえ、以下の降雨を想定しています。 総雨量 <b>125mm / 1時間</b></p> <p><b>浸水の想定方法</b> ▶大雨を排水しきれず地上に溢れると想定される市内の下水道について、その溢れた水がどのように氾濫し広がっていくかを予想しています。 ▶実際は、大雨が降った地域周辺において下水道から水が溢れ、浸水が発生します。</p> <p><small>※下水道で雨を排水していない区域 (計画外区域) および市外は浸水想定の対象としておりませんので、内水氾濫避難地図 (P3 ~ P14 の左側ページ) では灰色 (■) で着色しています。 ※土地利用状況は国土院国土数値情報 (平成21年 (2009年) までの調査結果) をもとに設定しています。 ※下水道の整備状況は令和2年 (2020年) 3月末時点です。</small></p> </div> <div data-bbox="1647 1165 2626 1543"> <h4>洪水</h4> <p><b>想定降雨</b> <b>川は比較的流域が大きく、長時間にわたる大雨</b>が降った場合に浸水規模が大きくなる特徴を踏まえ、川の流域の大きさに応じて、以下の降雨を想定しています。 総雨量 <b>406mm / 72時間：豊平川 (下流)</b> 総雨量 <b>473mm / 24時間：新川水系 (新川、中の川、琴似発寒川、琴似川)</b></p> <p><b>浸水の想定方法</b> ▶堤防の決壊が想定される全ての箇所について、どのように氾濫し浸水するかを予想し、それらの結果を重ね合わせ、浸水の区域と深さを表示しています。 ▶実際は、それらのうち限られた箇所が氾濫し、浸水区域が広がりながら徐々に深くなります。</p> <p>▶「札幌市地図情報サービス」(P21を確認)では、自宅などがどの川の浸水想定区域にあるか確認できます。</p> </div> <div data-bbox="1647 1554 2626 1617"> <h4>土砂災害にも注意してください</h4> </div> <div data-bbox="1647 1627 2626 1743"> <ul style="list-style-type: none"> <li>●大雨が降った場合には、土砂災害が発生する危険性もあります。</li> <li>●この避難地図 (P3 ~ P14) では、<b>土砂災害警戒区域</b> (■) も掲載していますので、必ずご確認ください。</li> <li>●自宅などが「土砂災害警戒区域」にある場合は、<b>指定緊急避難場所</b> (P19を確認) などへ避難しましょう。</li> </ul> </div> <div data-bbox="1647 1753 2626 1984"> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="1647 1753 1973 1984"> <h5>土石流</h5> <p>山腹や川底の石や土砂が集中豪雨などによって一気に下流へと押し流される現象</p> </div> <div data-bbox="1988 1753 2315 1984"> <h5>がけ崩れ</h5> <p>山の斜面や自然の急傾斜の崖、人工的な造成による斜面が突然崩れ落ちる現象</p> </div> <div data-bbox="2329 1753 2626 1984"> <h5>地すべり</h5> <p>斜面の一部あるいは全部が地下水の影響と重力によってゆっくり斜面下方に移動する現象</p> </div> </div> </div>

No. 3  
文章の追加  
赤字で表示

No.	項目	頁	第2回市営企業調査審議会で頂いたご意見	修正内容
4	3 避難地図	3~14	・指定緊急避難場所と駅のマークが、内水氾濫の浸水深を示す色と同系色なので、枠を使うなどすると見やすくなると思う。	・指定緊急避難場所と駅のマークを見やすくするため、 <b>指定緊急避難場所及び駅のマークを黒色の枠で囲み</b> ました。
5			—	・浸水の深さに応じた色の違いを明確に示すため、凡例において、 <b>各色の境界に黒線を追加</b> しました。

修正前	修正後
 <p>【浸水の深さに応じて色を分けて表示しています】</p>  <p>1m以上 3m未満</p> <p>0.5m以上 1m未満</p> <p>0.3m以上 0.5m未満</p> <p>0.3m未満</p> <p>【浸水の深さに応じて色を分けて表示しています】</p>  <p>10m以上</p> <p>5m以上 10m未満</p> <p>3m以上 5m未満</p> <p>0.5m以上 3m未満</p> <p>0.5m未満</p>	 <p>No. 4 黒色の枠で 囲む</p> <p>【浸水の深さに応じて色を分けて表示しています】</p>  <p>1m以上 3m未満</p> <p>0.5m以上 1m未満</p> <p>0.3m以上 0.5m未満</p> <p>0.3m未満</p> <p>【浸水の深さに応じて色を分けて表示しています】</p>  <p>10m以上</p> <p>5m以上 10m未満</p> <p>3m以上 5m未満</p> <p>0.5m以上 3m未満</p> <p>0.5m未満</p> <p>No. 5 各色の境界に 黒線を追加</p>

No.	項目	頁	第2回市営企業調査審議会で頂いたご意見	修正内容
6	4 大雨時に注意が必要な場所	17	—	・検討中であったインターネットでの <b>下水道の水位閲覧画面を掲載</b> しました。 ※現在、インターネットで都心部の下水道の水位をリアルタイムで閲覧できる（仮称）札幌市下水道水位情報システムの構築を進めており、令和4年3月の運用開始を予定しています。

修正前	修正後
 <p>水位観測所 (中央区大通西3丁目)</p> <p>インターネットでの 水位閲覧画面 (現在検討中)</p>	 <p>水位観測所 (中央区大通西3丁目)</p> <p>【表示イメージ】</p> <p>※現在の水位に応じて、以下のいずれかが表示されます。</p> <p>マンホールから溢水のおそれ 下水道管内が満水の状態</p> <p>マンホール</p> <p>下水道管</p> <p>下水道管内の水位は低い状態</p> <p>大通西3丁目 水位 -0.50 m</p> <p>※水位の変動を示すグラフなども確認できます。</p> <p>札幌市下水道水位情報システム 検索 QR</p> <p>https://www.●●</p> <p>No. 6 下水道の水位閲覧画面を掲載</p>

No.	項目	頁	第2回市営企業調査審議会で頂いたご意見	修正内容
7	7 わが家の防災メモ	20	・表紙をA3折込みにして配置し、切り取って掲示できるようにするなど、多くの方に活用してもらえような配置にすると良いと思う。	・防災メモを切り取って掲示し日頃から確認できるよう、「 <u>きりとり線</u> 」を追加しました。 ※表紙をA3折込みにすることは印刷製本に要する費用の面から難しいですが、表紙に記載の防災メモPR文をご確認いただき、多くの方に活用していただきたいと考えております。
8			—	・各チェック項目の目的などを明確にするため、「 <u>1内水氾濫の危険度を把握</u> 」「 <u>2洪水の危険度を把握</u> 」「 <u>3土砂災害の危険度を把握</u> 」「 <u>4避難の方法を確認</u> 」に分類して記載しました

修正前	修正後
<p>ステップ③ いざという時の行動をメモしよう!!</p> <h2>7 わが家の防災メモ</h2> <p><b>わが家の状況</b> 避難地図 (P3～P14) で自宅などを確認し (1)～(4) の [ ] はい [ ] いいえ にチェックしましょう。</p> <p><b>内水氾濫避難地図</b> (P3～P14 左側ページ)</p> <p>(1) 浸水の深さより居室が高い。 → <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ</p> <p>判断の目安 自宅などが何色で着色されているか確認しましょう。</p> <p>1m以上 3m未満 → 自宅などが2階建てであれば「はい」に✓ マンションなどは2階以上にお住まいであれば「はい」に✓</p> <p>0.5m以上 1m未満 → 「はい」に✓ 0.3m以上 0.5m未満 → 「はい」に✓ 0.3m未満 着色無し</p> <p>※一般的な戸建住宅 (1階の床の高さは地面から0.5m、2階の床の高さは地面から3.0m) を想定した目安です。</p> <p><b>洪水避難地図</b> (P3～P14 右側ページ)</p> <p>(2) 浸水の深さより居室が高い。 → <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ</p> <p>判断の目安 自宅などが何色で着色されているか確認しましょう。</p> <p>10m以上 → 「いいえ」に✓ 5m以上 10m未満 → マンションの高層階などにお住まいであれば「はい」となることがあります。</p> <p>3m以上 5m未満 → 自宅などが2階建てであれば「はい」に✓ マンションなどは2階以上にお住まいであれば「はい」に✓</p> <p>0.5m以上 3m未満 → 「はい」に✓ 0.5m未満 着色無し</p> <p>※一般的な戸建住宅 (1階の床の高さは地面から0.5m、2階の床の高さは地面から3.0m) を想定した目安です。</p> <p>(3) 家屋倒壊等氾濫想定区域 (  氾濫  河岸侵食 ) に入っていない。 → <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ</p> <p>(4) 土砂災害警戒区域 (  ) に入っていない。 → <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ</p> <p><b>わが家の避難方法</b> わが家の状況で記載した (1)～(4) の ✓ をもとに避難方法を確認しましょう。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> <b>ひとつでも「いいえ」がある</b> (指定緊急避難場所  ) (親戚・知人宅など)</p> <p>自宅などに留まることは危険です。避難情報が出た場合や周辺が浸水するなどして身の危険を感じた場合は、<b>速やかに安全な場所へ避難</b>しましょう。</p> <p> <b>指定緊急避難場所 兼 指定避難所 (基幹)</b> → P19 の避難場所一覧で確認</p> <p>[施設名] [住所]</p> <p><b>親戚・知人宅など</b></p> <p>[名前] [住所] [TEL]</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> <b>すべて「はい」</b> (在宅避難  )</p> <p>水が引くまでとどまることができ、備えが十分であれば<b>在宅避難が可能</b>です。</p> <p>◎最低3日分の食料品・飲料水やランタン、乾電池などの備蓄品を用意しておきましょう。</p>	<p>ステップ③ いざという時の行動をメモしよう!!</p> <h2>7 わが家の防災メモ</h2> <p>●避難地図 (P3～P14) を見て、自宅などの位置に○をつけ、<b>内水氾濫・洪水・土砂災害</b>の危険度を把握し、<b>避難の方法</b>を確認しましょう。</p> <p>●きりとり線がありますので、すぐに見られるよう掲示しておくことができます。</p> <p><b>1 内水氾濫避難地図 (P3～P14の左側ページ) で、内水氾濫の危険度を把握しましょう。</b></p> <p><b>A   浸水の深さより居室が高い。</b> → <input checked="" type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ</p> <p>▶チェック方法 自宅などは何色で着色されていますか? ※一般的な戸建住宅を想定したチェック方法です。(1階の床の高さは地面から0.5m、2階の床の高さは地面から3.0mを想定)</p> <p>1m以上 3m未満 → 1階が浸水する可能性があります。自宅などが2階建てであれば「はい」に✓ マンションなどの場合は、2階以上にお住まいであれば「はい」に✓</p> <p>0.5m以上 1m未満 → 1階が浸水する可能性は低いので「はい」に✓ 0.3m以上 0.5m未満 → 「はい」に✓ 0.3m未満 着色無し</p> <p><b>2 洪水避難地図 (P3～P14の右側ページ) で、洪水の危険度を把握しましょう。</b></p> <p><b>B   浸水の深さより居室が高い。</b> → <input checked="" type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ</p> <p>▶チェック方法 自宅などは何色で着色されていますか? ※一般的な戸建住宅を想定したチェック方法です。(1階の床の高さは地面から0.5m、2階の床の高さは地面から3.0mを想定)</p> <p>10m以上 → 2階以上まで浸水する可能性があるため「いいえ」に✓ マンションなどの場合は3階以上にお住まいであれば「はい」となることがあります。</p> <p>5m以上 10m未満 → 1階が浸水する可能性があります。自宅などが2階建てであれば「はい」に✓ マンションなどの場合は、2階以上にお住まいであれば「はい」に✓</p> <p>3m以上 5m未満 → 1階が浸水する可能性は低いので「はい」に✓ 0.5m以上 3m未満 → 「はい」に✓ 0.5m未満 着色無し</p> <p><b>C   家屋倒壊等氾濫想定区域 (  氾濫  河岸侵食 ) に入っていない。</b> → <input checked="" type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ</p> <p><b>3 避難地図 (P3～P14の両側ページ) で、土砂災害の危険度を把握しましょう。</b></p> <p><b>D   土砂災害警戒区域 (  ) に入っていない。</b> → <input checked="" type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ</p> <p><b>4 避難の方法を確認しましょう。</b></p> <p><input checked="" type="checkbox"/> <b>A～Dがすべて「はい」</b> → 水が引くまでとどまることができ、備えが十分であれば<b>在宅避難が可能</b>です。 ◎最低3日分の食料品・飲料水やランタン、乾電池などの備蓄品を用意しましょう。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> <b>ひとつでも「いいえ」がある</b> → 自宅などにとどまることは危険です。避難情報が出た場合や周辺が浸水するなどして身の危険を感じた場合は、<b>速やかに安全な場所へ避難</b>しましょう。</p> <p> <b>指定緊急避難場所 兼 指定避難所 (基幹)</b> (親戚・知人宅など) → P19 の避難場所一覧で確認</p> <p>[施設名] [住所] [名前] [住所] [TEL]</p> <p>◎すべて「はい」の場合でも、いざというときに備えて指定緊急避難場所などを記入しておきましょう。</p>

No. 7  
きりとり線  
を追加

No. 8  
1～4に  
分類して  
記載

No.	項目	頁	第2回市営企業調査審議会で頂いたご意見	修正内容
9	連合町内会ごとの 浸水ハザードマップ	-	-	・区ごとのハザードマップの修正 (No. 1) と同様、ハザードマップがどういったものか、またハザードマップで何を確認すればよいのか理解できるよう、 <b>文章を変更及び追加</b> しました。
10		-	-	・より多くの方に防災メモをご活用していただけるよう、連合町内会版にも <b>防災メモを掲載</b> しました。(修正前は、避難の考え方のみを掲載)

修正前	修正後
<p><b>避難地図 豊水連合町内会版</b> 浸水想定区域や避難場所を確認しよう!! 南4条西4丁目～南15条西1丁目付近</p> <p>内水氾濫避難地図 ▶下水道で雨を排水しきれず発生する浸水を想定 洪水避難地図 ▶川が氾濫することで発生する浸水を想定</p> <p><b>指定緊急避難場所(避難所)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指定緊急避難場所(避難所) <ul style="list-style-type: none"> <li>指定緊急避難場所(避難所) <ul style="list-style-type: none"> <li>指定緊急避難場所(避難所)</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> <p><b>指定避難所(地域)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指定避難所(地域) <ul style="list-style-type: none"> <li>指定避難所(地域)</li> </ul> </li> </ul>	<p><b>No. 9 文章の追加</b></p> <p><b>No. 9 文章の変更</b></p> <p><b>札幌市浸水ハザードマップ 豊水地区連合町内会版</b> 南4条西4丁目～南15条西1丁目付近 大雨災害から身を守るためにハザードマップで浸水の危険度や避難方法などを確認しよう!!</p> <p>想定し得る最大規模の降雨により想定される浸水区域を浸水の深さに応じて色を分けて表示しています。</p> <p><b>指定緊急避難場所(避難所)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指定緊急避難場所(避難所) <ul style="list-style-type: none"> <li>指定緊急避難場所(避難所)</li> </ul> </li> </ul> <p><b>指定避難所(地域)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指定避難所(地域) <ul style="list-style-type: none"> <li>指定避難所(地域)</li> </ul> </li> </ul>
	<p><b>No. 10 防災メモ掲載</b></p>